

氏名	滝澤宏和	部署	作業療法学科	職名	助教
研究分野	リハビリテーション学				
学位	博士（健康科学）				
学歴	2009年新潟医療福祉大学保健医療技術学部作業療法学科、2014年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科修士課程、2020年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科後期博士課程				
経歴	2009年戸田中央医科グループ入職、2015年同グループ副主任、2020年同グループ主任、2022年同グループ係長				
所属学会（役職）	日本作業療法士協会、埼玉県作業療法士協会、日本行動医学会、日本作業療法研究学会、日本不安症学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Inter-rater reliability and responsiveness of patients to proxy responses of the EQ-5D-5L for older patients with musculoskeletal disorder in rehabilitation wards	共著	あり	○	BMC Musculoskelet Disord . 2026 Mar 5. doi: 10.1186/s12891-026-09684-2.	Ryota Izumi, Shinichi Noto, Hirofumi Nagayama, Tetsuya Sano, <u>Hirokazu Takizawa</u> , Daichi Tsukakoshi	2026.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	脳卒中患者における注意バイアス測定の信頼性: 表情×単語4種類の測定による比較	共同	第59回 日本作業療法学会、香川県		○ <u>滝澤宏和</u> 、小泉浩平、田坂翔太、濱口豊太		2025.11
2	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中後片麻痺者の肩装具不要化に関するFMA_UEのカットオフ値の検討	共同	第59回 日本作業療法学会、香川県		○菊地大介、山本禎、 <u>滝澤宏和</u>		2025.11
3	脳卒中患者における4タイプの注意バイアスと身体活動量に相関関係はないー前向きコホート研究ー	共同	第59回 日本作業療法学会、香川県		○山下実夕、 <u>滝澤宏和</u> 、濱口豊太		2025.11
4	装具カンファレンスを受けた脳卒中片麻痺患者の歩行能力向上は年齢と認知機能に影響される	共同	第59回 日本作業療法学会、香川県		○山本禎、 <u>滝澤宏和</u> 、濱口豊太		2025.11
5	脳卒中患者における運転再開判定のためのプレーキ反応時間のカットオフ値作成	共同	第59回 日本作業療法学会、香川県		○清水康智、山本禎、 <u>滝澤宏和</u>		2025.11
6	チェックシートと動画フィードバックの活用で日常生活での上肢使用が定着した右リバース型人工肩関節の症例	共同	第59回 日本作業療法学会、香川県		○藤島貴幸、小林愛由、 <u>滝澤宏和</u>		2025.11
7	回復期脳卒中患者の更衣動作における前開きシャツ着脱所要時間のカットオフ値作成	共同	第59回 日本作業療法学会、香川県		○本山優希、山本禎、 <u>滝澤宏和</u>		2025.11
8	脳卒中患者に対する注意バイアス修正練習の効果検証 ランダム化比較試験	共同	第32回 日本行動医学会学術総会、神奈川県		○ <u>滝澤宏和</u> 、小泉浩平、安川徹、濱口豊太		2025.12

9	脳卒中片麻痺患者に対する関節角速度制御ロボット訓練による荷重比率改善の効果検証 臨床実装実現性の調査	共同	第14回 日本支援工学理学療法学会学術大会	○吉田寛也、山本禎、滝澤宏和	2025.12
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会下顎研究費補助金（若手研究）	脳卒中患者における注意バイアス修正プログラムの開発		研究代表者	2022.4～2026.3 （1年延長）
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生活環境技術学	○	7	個々の障がい者の残存機能・能力に合わせた生活支援を行うために必要な福祉用具や住宅改修の知識・技術を学ばせた	
2	高次脳機能作業療法学		3	高次脳機能障害の基本情報と実際に臨床場面で認められる症状を合わせつつ紹介した	
3	高次脳機能作業療法評価学		3	高次脳機能障害の基本情報と実際に臨床場面で認められる症状に対する具体的な評価手順について紹介した	
4	高次脳機能作業療法学特講		1	臨床場面での症例を紹介しながら、離床場面における作業療法の進め方を紹介した	
5	脳機能作業療法学特論		1	脳卒中後遺症のうつ症状メカニズムと、それを提言するための介入について紹介した	
6	リハビリテーション教育学Ⅱ		1	臨床実習プログラムの立案として、多職種連携とチームカンファレンスについて紹介した	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生活環境技術学演習	○	7	障がい者の支援に役立てるための福祉用具・自助具を実際に見学、利用することで具体的な支援方法について学ばせた。また、実際に車椅子利用者をゲストスピーカーとしてお招きし、見学・体験させた	
2	高次脳機能作業療法学演習		3	高次脳機能障害の基本情報と実際に臨床場面で認められる症状に対する具体的な介入方法について紹介した	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	身体機能作業療法評価学実習		1	3週間の長期実習に向かう直前の講義のため、今までの評価学に関する講義のまとめと共に実際の臨床現場、実習場面で求められる対応なども含め実践的な講義を実施した。	
2	日常生活活動学実習		3	基本動作（寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗）と日常生活動作（食事・排泄）について、実際の臨床的知見を踏まえつつ、動作方法のメカニズムと手技について解説・実技指導を実施した。	
3	臨地体験実習（身体領域）		3週間	学生が円滑に臨地実習を行えるよう、実習のオリエンテーションを行うことと、実習指導者に対し、指導者会議を通じて実習中の指導方法、対応について説明した。	
4	臨地総合実習（身体領域）		7週間	学生が円滑に臨地実習を行えるよう、実習のオリエンテーションを行うことと、実習指導者に対し、指導者会議を通じて実習中の指導方法、対応について説明した。	

5	IPW実習	○	4 日間	学生担当として実習施設の配置検討、ガイダンス・オリエンテーションの運営を実施し、学生が自主的に参加できるよう支援した。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2025.6～2026.3	主指導	2名	副指導 名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	埼玉県総合リハビリテーションセンター 講師	2025.4～2026.3	入院患者及び外来患者に対する作業療法訓練の指導・助言 等		
2	戸田中央リハビリテーション病院 作業療法士	2025.4～2026.3	入院患者に対する作業療法 職員に対する作業療法の技術指導及び学会発表支援		
3	新座病院 作業療法士	2025.4～2026.3	入院患者に対する臨床作業療法の実施		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	埼玉未来大学オンライン講座	埼玉未来大学	100歳まで認知機能を保つための脳トレ		2025年4月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	全国リハビリテーション学校協会	研修委員		2024.6～現在	
2	日本行動医学会	将来構想委員		2023.7～現在	
3	日本行動医学会	研究推進委員		2023.7～現在	
4	戸田中央メディカルケアグループリハビリテーション部	教育委員会 人材育成部門 学術活動支援担当		2025.4～現在	
5	戸田中央メディカルケアグループリハビリテーション部	育成課程編成委員		2024.12～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	該当なし				
5. 学内運営					
	項目	内容			期間
1	学生支援	卒業式準備			2026.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス（分担）			2025.8
3	大学広報活動	高校訪問（模擬授業）			2025.10
4	大学広報活動	合同学園祭			2026.2
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名	主催		受賞年月	
1	該当なし				
7. 特許の取得					
	特許名	特許番号		登録年月	
1	該当なし				
8. 特記事項					
1	該当なし				